

校報 淑徳与野 中学・高等学校

SHUKUTOKU YONO JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

学校法人 大乗淑徳学園

■発行：〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合5-19-18 TEL.048-840-1035
URL <http://www.shukutoku.yono.saitama.jp/>
■編集：井ノ口 裕

第142号

発行年月日：2024.5.11

高校卒業式



令和六年三月一日(土)、高校卒業式が盛大に挙行され、この日、三六二名に及ぶ卒業生の皆さん方が本校を巣立つて行きました。この青学年の皆さんは、大変なコロナ禍のなか高校に入學し、「リモート授業」や「黙食」等を日々こなしできました。また、一年次の「山の教室」が二度まで延期されたり、二年次の「アメリカ修学旅行」が北海道に変更さ

れたり、「卒業証書授与」です。クラス担任の「呼名」に応じ、卒業生が一人ひとり起立しま

す。感極まつて呼名できない担任も現れるなど、感動的な卒業式となりました。退場に際しては、クラスごとに工夫を凝らしたパフォーマンスが行われ、参列者の涙と笑いを誘っていました。

加えて、当日の午後は、卒業生有志が主体となって、「卒業を祝う会」が行われました。軽音楽部・吹奏楽部・ダンス部・バトン部の有志が演奏や演技を披露するとともに、教職員に花束を贈呈。最後は、クラスごとに撮影した「卒業記念DVD」の完成版を全員で視聴し、それぞれ楽しく有意義であった三年間を思い出していました。この日ばかりは、友人たちとの別れを惜しんで泣き合ったり、昔を懐かしく笑い合ったりと、とにかく忙しい一日となりました。

卒業生の皆さん、改めましてご卒業おめでとうございます。

新旧校長あいさつ…………… 2・3
人事…………… 2・3
主要大学合格状況(過去3年) … 4
高1インターナショナルプログラム報告 … 5
高1 英国語学研修 … 5
入学式…………… 6
中3 英国語学研修 … 6
クラブ活動報告…………… 7
淑与中だより…………… 8



淑与中だより



二月十六日(金)・十七日(土)の二日間にわたり、芸術研究発表会が行われました。例年どおり「創作研究」の発表と、土曜講座筝曲・リコーダー・書道の発表、家庭科・美術の授業で作成した優秀作品の展示に、今年は保護者だけでなく入学予定の新入生とそのご家族にもお越しいただくことができました。

また、今年から「創作研究」も形を変え、生徒たちが選んで読んだ「新書」の内容についてまとめて、その本のどこが面白かったのかを自分の言葉で伝えるというものになりました。自分の興味ある分野・異なる分野の計二冊の新書を読むことで興味関心の幅を広げることもできました。

来年度はさらに読みを深め、自分の考えたことや提案を加えたりして、進路探求にも繋げていく予定です。



芸術研究発表会

中一 校外学習 職業体験（デイズニー）

中三 京都奈良明日香修学旅行

令和五年十一月十七日(金)東京ディズニーランドに行ってきました。

午前は行動班と分かれて学びと遊びのメリハリをもって行動をしました。午前は生憎の雨であつたため、生徒も教員も心配していましたが、生徒たちは雨にも負けず一生懸命にインタビューに取り組みました。午後は天候も回復し、帰りのバスではみんな満足そうな表情を浮かべているのが印象的でした。

奈良では、興福寺、東大寺の見学、「語り部の会」の先生の講演、班別行動による明日香散策、法隆寺の見学をしました。京都では、舞妓さんとの交流体験、知恩院で輪島塗の見学を行いました。

清水寺と付近の班別行動による自由散策を行い、最後に三十三間堂を見学して、帰途につきました。晴天の日もあり、紅葉の美しい奈良・京都を満喫することができました。雨の日もありましたが、晴天の日もあり、紅葉の素晴らしい奈良・京都を満喫することができました。最後に三十三間堂を見学して、帰途につきました。

素敵な思い出をいっぱいつくりながら仲間との絆を深め、多くを学び得る修学旅行となりました。
※なお、令和五年度は中二の台湾研修も再開いたしました。

里見前校長、退任



たとえば平成十七（二〇〇五）年。それまで中学校をもたなかつた本校は、駅に近く、通学の利便性にまさる現在の地（さいたま市中央区上落合）に、淑徳与野中学校を開校しましたが、これが本校の、新たな中・高六年一貫教育の始まりにほかなりません。

平成十（一九九八）年四月の就任以来、実に二十六年間の長きにわたり、淑徳与野中学・高等学校の校長を勤めてこられた里見裕輔先生が、この三月をもってその職を退任されました。

今年度から先生は、引きつづき学園の理事としての立場は変わらず、一方で、淑徳与野中学・高等学校の「学監」という新たな役職につかれ、今後は本校の仏教情操教育の推進と、また、その監督にあたられることになります。

ところで、先生が校長を勤めたあの二十六年間は、本校の歴史にあって、まさに変革と脱皮の時代であったといつても、それは過言ではないでしょう。

中等部の開設から十年の歳月を要し、それまで円阿弥という、市の中心を外れ、遠隔の地にあった淑徳与野高等学校の、移転、これがようやく実現し、今の建物が中学校に隣接して造られたのですが、これもまた、学校を永く後世に伝えるために必要な、過去から脱皮といえるでしょう。

平成二十七年――



（取材編集・安東国子）

さて、学園には里見校長のこの時代を、埼玉における、与野地区再開発の第一期目と捉える考え方もあるようですが、だとすれば、新校長を迎えて、学校は更に再開発の手をゆるめることなく、変化を恐れず、一層の発展を目指さなければならぬようです。

退職教職員

令和6年3月31日付

令和5年度をもってご退職される教職員の皆さんです。生徒への学習指導や進路指導のみならず、もちろんの委員会やクラブ活動といった、生徒の日々の学校生活の、いたるところでご尽力くださいました。なお、無田先生と堀江先生は、本年度より講師として勤務されています。



新任紹介

令和6年4月1日付

内田祐理菜先生
(体育科)

菅光晴先生
(英語科)

重田樹音先生
(国語科)

重岡なつみさん
(事務部)

杉田和之さん
(事務部)

石川祐貴さん
(事務部)

※重岡さんと杉田さんは令和5年10月から、石川さんは令和6年6月から本校に勤務されます。

加藤広彦さん

(事務部)



村上未祐先生

(理科)



堀江さやか先生

(国語科)



無田京子先生

(英語科)



石川昌子先生

(英語科)



矢吹誠先生

(数学科)



川崎容子先生

(国語科)



高一インター・ナショナルプログラム報告

高一英国語学研修



一月中旬より四月一日(月)まで高校一年生(現高校二年生)の十四名がアメリカ、五名がカナダ、十二名がニュージーランドでのインターナショナルプログラムに参加しました。アメリカ・シアトルとニュージーランドでは現地校へ、アメリカ・サンディエゴとカナダでは語学学校に通い、英語力を高めました。

出発前は、英語でのコミュニケーションや現地での生活に不安を抱えていましたが、ホストファミリーとの会話、学校での学習などを通して、リスニング力や会話力を提高了。

現地には、他国からの留学生もいたので、その国だけでなく、様々な文化や考え方などを学び、大きく成長して帰国しました。今後の活躍が楽しみです。



出发前は、英語でのコミュニケーションや現地での生活に不安を抱えていましたが、ホストファミリーとの会話、学校での学習などを通して、リスニング力や会話力を提高了。

ホストファミリーとは映画を見たり、ゲームをしたり、大学生のホストシスターに大学を案内してもらつたりしました。中には、パトシスターに一人乗りの小さい飛行機に乗せてもらつた人がいたようです。

学校では、既に淑徳与野で学習していた代数の知識を生かし、先生の手伝いをして、友人に教える立場になつた生徒もいました。数学を英語で説明することで、英語力をさらに磨くことができました。

学校では、既に淑徳与野で学習していた代数の知識を生かし、先生の手伝いをして、友人に教える立場になつた生徒もいました。数学を英語で説明することで、英語力をさらに磨くことができました。



三月十九日(火)から四月一日(月)まで、高校一年生三十六名は、英國中南部グレートモーバンの町授業や終業式に参加し、寮を訪ね、各家庭ではイースターの伝統行事や英國の家族団欒を体験することができました。お別れパーティーでは、日本文化やすばらしい歌声を披露し、各々がファミリーの方に上達した英語で感謝の辞を述べ、大盛況のうちに終わりました。

最終日のロンドンはイースターホリデーの最中で、世界各地から大勢の観光客が訪れ、また、イスラエル・パレスチナ紛争に対する大規模な抗議デモもあり大変な混雑でした。歴史や伝統を受け継ぐ人々とともに、様々な価値観を持つ人々との共存について考える機会もあり、生徒たちは大いに成長できた研修となりました。

曇り空から小雨が降り出し、慌てて傘を差すとほんの数分で止んでしまい、そのまま数分後には晴れ間も出てくる…。生徒たちは、イギリスの典型的な天気を、初めは驚き煩わしく思っていました。しかし、オックスフォード、バース、ストラッドフォード、ウエストミンスター大聖堂やウースター大聖堂など各所を訪れている内に、いつの間にか、多少の雨はブードを被つてやり過ごすようになつていきました。

豪雨の中、生徒たちは、ロンドン市内を歩き、塔橋やテムズ川の橋、大英博物館などを訪問。また、ロンドン塔やウェストミンスター宮殿など、多くの歴史的建造物を観光しました。夜は、ロンドンの夜景を楽しむため、タワー橋やアイリーン橋付近で夜景撮影を楽しんだり、ナイトバスに乗って街を散策したりしました。

最終日のロンドンはイースターホリデーの最中で、世界各国から大勢の観光客が訪れ、また、イスラエル・パレスチナ紛争に対する大規模な抗議デモもあり大変な混雑でした。歴史や伝統を受け継ぐ人々とともに、様々な価値観を持つ人々との共存について考える機会もあり、生徒たちは大いに成長できた研修となりました。

主要大学合格状況(過去4年)

2024年4月8日現在。()内は過年度生。

国・公立大学				
学校名	2024年	2023年	2022年	2021年
北海道大学	4		1	
東北大学		1		3
東京大学	1 (1)			
大阪大学	1	1		1
名古屋大学			1	
九州大学	1	1 (1)		
筑波大学	2	3	3 (1)	3
お茶の水女子大学	2	2	2	1
一橋大学	1			2
東京医科歯科大学	1	1	1	
東京外国語大学		1	3	3
東京農工大学	2	4	3 (1)	2
東京海洋大学	1 (1)	3	3	2
東京学芸大学	2	2	1	1
電気通信大学				1
宇都宮大学	1		2	1
群馬大学	1	1	4 (1)	1
千葉大学	1	5	3	5
埼玉大学	7	5	8	7
横浜国立大学	1		1	2
高崎経済大学	1		1	3
横浜市立大学		1	2	1
東京都立大学	1	6	1	1
埼玉県立大学	3	5	1	1
防衛医科大学校	3	4	1	
航空保安大学校	1			
防衛大学校	4	2		2
国立看護大学校	2		1	
その他	8 (1)	6	5	10 (1)
合 計	52 (3)	54 (1)	48 (3)	53 (1)

私立大学				
学校名	2024年	2023年	2022年	2021年
早稲田大学	49 (1)	47	65	55
慶應義塾大学	15	5	21 (1)	16
上智大学	62 (3)	60	46	81
東京理科大学	35	42	31 (1)	34
合 計	161 (4)	154	163 (2)	186
明治大学	91 (1)	80 (4)	103 (2)	73
立教大学	120 (3)	138 (5)	147 (3)	126
青山学院大学	24 (1)	31	27	22
学習院大学	36 (2)	29	55	29
中央大学	43	35 (2)	38 (1)	56 (2)
法政大学	50 (1)	58 (4)	54 (2)	42 (1)
合 計	364 (8)	371 (15)	424 (8)	348 (3)
津田塾大学	21 (2)	25 (2)	18	21 (1)
東京女子大学	68 (1)	49 (2)	64 (1)	95 (1)
日本女子大学	102 (2)	123 (1)	157 (1)	117 (1)
合 計	191 (5)	197 (5)	239 (2)	233 (3)
獨協大学	28	18 (1)	27 (1)	15
成蹊大学	13	8 (1)	18	12 (1)
成城大学	21 (1)	20 (5)	21	16
東洋大学	48 (3)	31 (2)	63 (1)	46
日本大学	17 (4)	38	39 (1)	24 (2)
合 計	127 (8)	77 (9)	168 (3)	115 (3)

医・薬・歯・獣医学部合格状況				
学部名	2024年	2023年	2022年	2021年
医学部	9 (2)	16 (1)	28 (9)	18 (9)
富山大学、獨協医科大学、埼玉医科大学、北里大学、杏林大学、帝京大学、日本医科大学(等)				
薬学部	44 (4)	43	54 (1)	49 (5)
慶應義塾大学、東京理科大学、星薬科大学、明治薬科大学、昭和薬科大学、順天堂大学(等)				
歯学部	2	3	4 (4)	2 (1)
昭和大学、東京歯科大学				
獣医学部	6 (1)		5	
酪農学園大学、日本大学、日本獣医生命科学大学、麻布大学、岡山理科大学				

※旧帝大・関東圏内の大学のみの表示となっています。

過去4年間の進学率

学校名	2024年	2023年	2022年	2021年
卒業生総数	362	357	405	346
4年制大学	96.1%	96.6%	96.5%	96.8%
短期大学等	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%
合 計	96.1%	96.6%	97.0%	97.1%

クラブ 活動報告



中学バトン部
「全国大会」出場

「Song/Pompadour Small A 第四位
GRACE LUCIDAが中学校編成Song/
Pompadour Large 第七位となりました。
た。おだ、GRACE LUCIDAは特別賞
である「ベストインパレッシン賞」
を受賞しました。



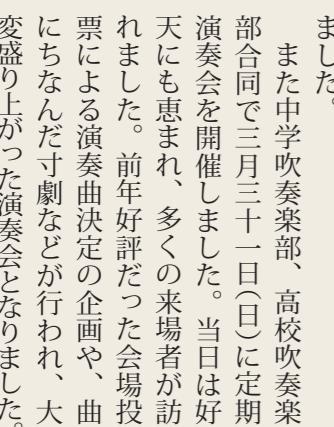
高校卓球部 「県大会」出場

高橋卓球部は、一月二十九日(月)、三十一日(水)に行われた、令和五年度高校卓球新人大会南部支部予選会に出場しました。シングルスでは三橋佑果子さん(高校二年八組)がベスト8、団体でもベスト8に進出し、いずれも県大会出場を決めました。



高校バトン部
「全国大会」出場

Nationals 2024
全国選手権大会に出場しました。BLAZEは高校編成Song/Pom部門Small Bにおいて、五位を獲得しました。



高校吹奏楽部
アンサンブル「コンテスト」「銀賞」受賞
中高吹奏楽部合同
「定期演奏会」開催

また中学吹奏楽部、高校吹奏楽部合同で三月三十一日(日)に定期演奏会を開催しました。当日は好天にも恵まれ、多くの来場者が訪れました。前年好評だった会場投票による演奏曲決定の企画や、曲変盛り上がった演奏会となりました。



中学吹奏楽部
アンサンブルコンテスト「金賞」受賞
「県大会」出場

中学吹奏楽部木管八重奏のメンバーは令和五年十一月八日(水)に、われた埼玉県吹奏楽連盟ならびに新新聞社主催の第四十七回埼玉県アンサンブルコンテスト中学生地区大会において金賞を受賞し、県会への出場を決めました。令和五年十二月十六日(土)に行われた大会では、銀賞を受賞しました。

高校吹奏楽部は令和五年十一月二十四日(金)に行われた、埼玉県アンサンブルコンテスト地区大会において木管八重奏、弦打楽器四重奏の二団体どちらも銀賞を收めました。

また中学吹奏楽部、高校吹奏楽部合同で三月三十一日(日)に定期演奏会を開催しました。当日は好天にも恵まれ、多くの来場者が訪れました。前年好評だった会場投票による演奏曲決定の企画や、曲にちなんだ寸劇などが行われ、大変盛り上がった演奏会となりました。



中学・高校入学式



4月9日(火)、午前に高等学校、午後に中学校の入学式が挙行されました。高校は318名、中学校は174名の新入生を迎え、保護者の方も制限なくお招きした中で式を行なうことができました。春の嵐ともいえるあいにくの天気ではありましたが、真新しい制服に身を包んだ新入生の姿は眩しく、少しの不安と大きな期待に満ちた表情をうかがうことができました。

入学式には、本校の姉妹校であり、高校2年次実施のアメリカ修学旅行でも交流をするBlanchet Catholic Schoolのスミス校長ご夫妻がお越しくださり、新入生へ激励の言葉をかけてくださいました。その後、式の中で代表生徒の「誓いの言葉」を聞いた新入生たちは、表情を引き締め、これから学校生活への意欲を高めていました。



しい街並みに目を輝かせていました。英語のレッスンでは、オールイングリッシュの授業に戸惑いつつも、それすらも楽しみながら取り組みました。レッスンと並行して、現地生徒との交流、スコーンづくり、ドラマ（演劇）授業など普段なかなかできない貴重な経験をすることができました。

研修最終日の朝、ホストファミリーと別れる際には多くの生徒が涙を流しながら感謝を伝えていました。英語や異文化を学ぶだけなく、この研修を支えてくれた多くの人の温かさに感謝し、今後より一層の努力を誓つたとても充実した研修となりました。



中三 英國語學研修